

授業科目名	地域の医療と福祉	担当教員	星 雅丈
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 3 クォーター		
講義内容	わが国では少子・高齢化や 30 年以上続く経済の低成長に伴い、国民の生活と安心を守るための「社会保障」の今後が不安視されている。本講義のテーマである「医療」「福祉」はその社会保障の一部である。 本講義では、主にわが国の社会保障のうち、若者に関わりの深い医療・福祉の制度全般について、対象となる者、必要な財、その運営体制、および実施を担う専門職について学ぶ。さらにドキュメンタリー動画・映画の視聴を通じ、わが国の社会保障に関わる現状の問題点や諸外国とわが国の社会保障制度との違いについても理解する。 そして、地域において実際にどのように医療・福祉のサービスが提供されているかについて、北近畿地域に所在する市町村をサンプルとして提示し、実感の伴う学びへと昇華させる。		
到達目標	1) わが国の医療・福祉制度について、仕組みや具体的内容を説明できる。 2) わが国と諸外国の社会保障制度の違いを説明できる。 3) 地域における医療・福祉の制度の運用と実態について説明できる。 4) 医療・福祉制度を鑑みて地域の諸活動の計画等につなげることができる。		
授業計画	1 ガイダンス： 社会保障を学ぶ意義、社会保障の概念と給付の仕組み 2 医療保険制度①： 医療保険制度の沿革と必要性、制度の概要 3 医療保険制度②： 医療保険制度における現金給付と現物給付 4 医療保険制度③： 高齢者の医療制度と医療提供体制の実態 5 介護保険制度①： 高齢者の見守りと看取り、介護保険制度の成立 6 介護保険制度②： 介護保険の仕組みと介護サービスの提供体制 7 生活保護制度： 生活保護の対象、いったい何が保護されるのか 8 諸外国の社会保障制度①： ドキュメンタリー映画に学ぶ米国等諸外国の制度 9 諸外国の社会保障制度②： ドキュメンタリー映画に学ぶ欧州諸国の制度 10 社会福祉制度： 障害者福祉等、福祉サービスの仕組みと給付 11 少子化・感染症対策： 地域における保健サービスも社会保障のひとつ 12 地域の医療と福祉： 地域における制度の運用と実施体制、北近畿地域の実態と問題点をデータから探る		
事前・事後学習	各回講義では事後学習が重要である。配布した講義資料、提示スライド、ノートを合わせて読み返し、理解を深めるよう努めること。		
テキスト	適宜、資料を配布する。		
参考文献	『袋小路の向こうは青空』，鷹野和美著，法研，2008。（Kindle 版にて無料）		

<p>績評価 の 基 準</p>	<p>S： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、わかりやすく説明ができ、かつ問題点を的確に指摘できている。</p> <p>A： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、関連するキーワードを挙げ、わかりやすく説明することができている。</p> <p>B： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、関連するキーワードを挙げ、概要を述べることができている。</p> <p>C： わが国の医療・福祉制度、地域における医療・福祉サービスの現状について、関連するキーワードの理解において最低限の水準を満たしている。</p> <p>D： 上記の基準に達していない。</p>
<p>履修上の注意 履修要件</p>	<p>当科目で教授する内容は、高校までに習うものがなく、かつ学部・学科の学びとは合致しない内容である。当科目で以外、社会保障について学ぶ機会はないが、その知識は、特に大学卒業後の人生において大いに役立つ。よって、つまらない単位稼ぎではなく、12回の講義に真剣に臨んでくれることを期待する。</p>
<p>実践的教育</p>	<p>該当しない。</p>
<p>備考欄</p>	<p>成績評価方法は以下の通りとする。</p> <p>期末試験：70%、期末レポート：30%</p>